

## ふる里の歳時記 (115)

写真と文：厚川 小一（エッセイスト）



## 真夏の彩

猫好きの似たもの姉妹百日紅 厚川 小一

二十四節気の一つである「夏至」を越し、いよいよ日本一暑いといわれる地の夏本番がやってきた。七月に入っすず梅雨明けには、まだ間があるが、南の国で宣言されるのは六月下旬である。遅い年には子どもたちの夏休みが始まるころになった時があり、いったん気象庁が梅雨明けを宣言した後、再び戻ることがある。「戻り梅雨」で何年か続いたこともあった。へそが汗ためてゐる 種田山頭火 (第七句集)

今年は五月中旬に館林で三十一度を超えた。「秩父」「熊谷」「館林」とカーブを描いて、この例外な暑さは、昔とあまり変わっていないように、これが先年までの雷の移動線に一致する。あの恐ろしい「三把稲」である。当地で麦刈りのころ雷雨が発生する。これが三把の稲を束ねる間にやってくるという早さから、そう言い伝えられてきたが、その雷も暑さから外れて、あまり発生しなくなった。その分暑くなったのであろうか。

中症を起こすから止めるよう注意された。また、この炎暑とは別に冷夏が時にある。あれから十数年経っていると、北からの寒冷な高気圧が強く冷夏になり、米が大不作で貯蔵が底をつき、ついに米屋さんがシャッターを下ろしてしまつた。やっとタイ米が輸入され、何とかしのいだ。涼しいとこんなことが起こる。この年の夏は、確かにしるぎやすかつた。東北地方で過去起こつた大飢饉は、寒冷高気圧が居座つたことによる。かつて国道三五四の工事のため狸塚の行人塚が発掘され、人骨の頭部が出土した。鑑定が行われた結果、その人は巡礼に出るまでに二度飢饉に遭っていることが分かつた。東北の出身者らしい。暑い話が、だいたい冷たくなつてしまつたが、例として挙げてみた。

るので、買うものだという家庭が次第に多くなり、庭に干された梅の独特の酸っぱい香りは消えてしまった。アルミの弁当箱の真ん中に赤い梅干し一個、これを「日の丸弁当」と称し、小学生から出稼ぎ職人まで、多くのかたが持つて家を出た。梅干しは食物への防腐効果もあつて弁当には、なくてはならぬものであつた。

六月に届いた「家の光」に梅名人といわれるかたの梅仕事の特集に組まれているが、私たちがかなり塩辛いものを食べていたようである。理想とする塩分は30%以下で、健康志向による塩分は15%まで塩抜きをするのがおすすめのようである。最近では梅の品種も「白加賀」から「南高梅」に変わつてきた。これからは南高梅が主流となることであらう。



夏至の夕陽(国道三五四から)

## まの風景

色鮮やかな中央公園のあじさい



Photo 広報担当者

## ひとりごと From editors

▼4月に職員になったばかりの(清)です。日々の仕事すべてが初めてで不安なことばかりですが、早く仕事に慣れて皆さんに喜んでもらえたらいいなと思います。▼広報編集を担当して今月号で3号目。初めころはパソコンの使いかたや編集上の注意点など、覚えることがたくさんありすぎて毎日頭がパンクしていました。わからないことがあるたびに助けてくれた広報担当のかたがた、ご迷惑をおかけしました。そしてありがとうございました。自分が編集するようになって友人が広報を読んでくれるようになりました。一言感想をくれただけでしたがとてもうれしかったです。(≥▽≤)b。(清)

広報おうら

平成22年7月号 No.526

ORA TOWN Public Relations

毎月1日発行



編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎ 0276-88-5511 (代表)

☎ 0276-47-5007 (企画課直通)

☎ 0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>E-mail [koho@town.ora.gunma.jp](mailto:koho@town.ora.gunma.jp)

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>